



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 持田製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4534 URL <https://www.mochida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 直幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮本 憲一

TEL 03-3358-7211

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	49,476	7.0	3,952	25.1	4,053	25.5	2,838	27.6
2023年3月期第2四半期	53,200	1.5	5,279	13.9	5,443	14.6	3,923	20.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,921百万円 (45.2%) 2023年3月期第2四半期 3,389百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	78.39	
2023年3月期第2四半期	104.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	156,400	127,305	81.4
2023年3月期	158,831	126,775	79.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 127,305百万円 2023年3月期 126,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		40.00		40.00	80.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	0.7	8,500	0.1	8,700	4.2	6,300	5.3	176.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	38,500,000 株	2023年3月期	38,500,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	2,878,093 株	2023年3月期	1,967,279 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	36,210,994 株	2023年3月期2Q	37,498,631 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2023年11月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	10
(1) [連結]設備投資、減価償却費、研究開発費	10
(2) 主要製品の売上高	11
(3) 医薬品等開発状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

医薬品業界では、社会保障費財源確保の問題を背景とする薬剤費抑制政策が継続的に推し進められる中、2023年4月にも薬価の中間年改定が行われました。また企業間競争も加速しており、引き続き厳しい事業環境にあります。

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は、研究・開発から製造・販売までのグループ総合力を結集して医療・健康ニーズに応え、持続的成長に向けて選択と集中を進め、更なる環境変化に対応すべく収益構造の再構築を進めております。そのために「新薬を中心とした重点領域における収益の最大化」「将来の競争力に結びつく事業活動への投資」「イノベーション創出と生産性向上に向けた企業体制の強化」を課題として重点的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における医薬品関連事業は、重点領域の「循環器、産婦人科、精神科、消化器」にリソースを集中し、主力製品を中心とした情報提供活動を積極的に展開いたしました。また、ヘルスケア事業は、皮膚科医・産婦人科医や看護師等の高い支持を基盤としたマーケティングの推進に努め、市場開拓を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は49,476百万円で前年同期比7.0%の減収となりました。

これを事業別に見ますと、医薬品関連事業は薬価改定や抗うつ剤「レクサプロ」の後発品が2022年12月に上市された影響を受け、売上高は46,286百万円で前年同期比7.8%の減収となりました。新薬の売上高は、潰瘍性大腸炎治療剤「リアルダ」、慢性便秘症治療剤「グーフイス」「モビコール」、及び痛風・高尿酸血症治療剤「ユリス」が伸長し、前年同期を上回りました。2023年5月に販売を開始した肺動脈性肺高血圧症治療剤「トレプロスト吸入液」、及び2023年6月に販売を開始した抗IL-23p19モノクローナル抗体/潰瘍性大腸炎治療剤「オンボー」も寄与しました。長期収載品の売上高は前年同期を下回りました。後発品事業の売上高は前年同期を上回りました。なお、潰瘍性大腸炎治療剤「コレチメント」を2023年9月から販売しております。

ヘルスケア事業の売上高は3,190百万円で前年同期比6.4%の増収となりました。抗真菌成分配合シャンプー・石鹸をはじめとする「コラージュフルフルシリーズ」、及び基礎化粧品「コラージュリペアシリーズ」の売上高が伸長しました。

次に当第2四半期連結累計期間の利益面につきましては、医薬品関連事業の売上高減少及び円安による原薬・製剤の輸入価格の上昇等に伴う売上総利益の減少により、営業利益は3,952百万円で前年同期比25.1%の減益となりました。経常利益は4,053百万円で前年同期比25.5%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,838百万円で前年同期比27.6%の減益となりました。

研究開発の状況につきましては、研究面では、オープンイノベーションの推進、及び外部リソースを活用した創薬により細胞・核酸・遺伝子などの新たなモダリティを取り込み、創薬パイプラインの充実を図っております。特に核酸医薬については、高度な専門性を持つ人材の獲得、核酸医薬の製造に強みを持つ外部企業との密な連携、新規創薬技術の獲得を積極的に進め、独自の研究戦略を軸に競争優位性のある自社創薬研究を推進しております。

再生医療等製品の分野においては、間葉系幹細胞を用いたプロジェクトに優先的に取り組んでおり、ヒト歯髄幹細胞SHED、高純度間葉系幹細胞REC、臍帯由来の細胞医薬品「HLC-001」を用いた治療法の開発を進めております。

臨床開発面では、持続型G-CSF製剤ペグフィルグラスチムのバイオ後続品「ペグフィルグラスチムBS「モチダ」/「ニプロ」(開発コード:MD-110)の製造販売承認を2023年9月に取得しました。イドルシア ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同開発を行っている不眠症治療薬「ACT-541468」について、同社が製造販売承認申請を2023年10月に行いました。「リアルダ」の小児適応、中国において住友製薬(蘇州)と提携して開発を進めている高トリグリセリド血症治療剤「MND-21」、及び「ユリス」の小児適応は、臨床第Ⅲ相段階にあります。「トレプロスト吸入液」の間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の適応については、臨床第Ⅱ/Ⅲ相段階にあります。

次世代の柱の一つと位置付けるバイオマテリアル事業においては、アルギン酸を基盤とする各プロジェクトを推進しております。軟骨修復材「dMD-001」は製造販売承認申請中です。海綿体神経損傷治療材「dMD-002」は探索的治験段階にあります。また、癒着防止材「dMD-003」の検証的治験を開始しました。米国において、神経再生誘導材(一般的名称:Nerve Cuff)の510(k)申請を2023年9月に行いました。

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は4,855百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、156,400百万円となり、前連結会計年度末比で2,431百万円減少いたしました。

資産の減少は、主に売掛金が増加しましたが、現金及び預金や繰延税金資産が減少したためです。負債の減少は、主に未払法人税等が増加しましたが、その他の流動負債に含まれる未払金や賞与引当金が減少したためです。純資産の増加は、主に自己株式の取得による減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金や投資有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加があったためです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、25,957百万円となり、前連結会計年度末比で12,053百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益による収入がありましたが、棚卸資産の増加や売上債権の増加により5,930百万円の支出(前年同期は5,174百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出や投資有価証券の取得による支出により1,790百万円の支出(前年同期は2,139百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出や配当金の支払により4,399百万円の支出(前年同期は2,816百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間にはほぼ計画に沿った業績で推移しているため、2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,010	34,757
売掛金	27,806	31,268
有価証券	13,499	13,499
商品及び製品	14,644	17,982
仕掛品	1,453	1,660
原材料及び貯蔵品	8,307	8,259
その他	4,656	4,825
流動資産合計	117,379	112,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,069	6,926
機械装置及び運搬具（純額）	1,854	1,723
土地	4,990	5,789
その他（純額）	1,135	1,077
有形固定資産合計	15,049	15,516
無形固定資産	797	736
投資その他の資産		
投資有価証券	14,246	17,574
繰延税金資産	3,883	2,898
その他	7,476	7,420
投資その他の資産合計	25,605	27,893
固定資産合計	41,452	44,147
資産合計	158,831	156,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,047	9,281
電子記録債務	910	1,016
未払法人税等	501	1,096
賞与引当金	2,313	2,066
その他の引当金	169	157
その他	14,316	10,660
流動負債合計	27,258	24,280
固定負債		
退職給付に係る負債	4,133	4,138
その他	664	676
固定負債合計	4,798	4,814
負債合計	32,056	29,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,229	7,229
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	118,943	120,321
自己株式	△7,114	△10,043
株主資本合計	120,930	119,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,655	7,760
退職給付に係る調整累計額	189	166
その他の包括利益累計額合計	5,844	7,927
純資産合計	126,775	127,305
負債純資産合計	158,831	156,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	53,200	49,476
売上原価	24,771	23,961
売上総利益	28,429	25,515
販売費及び一般管理費	23,149	21,563
営業利益	5,279	3,952
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	171	181
その他	57	70
営業外収益合計	229	253
営業外費用		
支払利息	—	0
持分法による投資損失	—	115
支払手数料	7	8
その他	59	27
営業外費用合計	66	152
経常利益	5,443	4,053
特別利益		
受取和解金	6	11
投資有価証券売却益	—	15
受取保険金	4	—
特別利益合計	10	27
特別損失		
固定資産除売却損	41	31
特別損失合計	41	31
税金等調整前四半期純利益	5,412	4,049
法人税等	1,489	1,210
四半期純利益	3,923	2,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,923	2,838

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,923	2,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511	2,105
退職給付に係る調整額	△21	△22
その他の包括利益合計	△533	2,082
四半期包括利益	3,389	4,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,389	4,921

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,412	4,049
減価償却費	1,285	1,330
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15
受取保険金	△4	—
固定資産除売却損益(△は益)	41	31
持分法による投資損益(△は益)	—	115
賞与引当金の増減額(△は減少)	△543	△246
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71	△28
受取利息及び受取配当金	△172	△182
支払利息及び支払手数料	7	9
売上債権の増減額(△は増加)	1,919	△3,461
棚卸資産の増減額(△は増加)	113	△3,496
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,715	△1,471
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,051	340
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△698	△1,972
その他	△132	△518
小計	6,821	△5,517
利息及び配当金の受取額	172	182
利息及び手数料の支払額	△4	△7
保険金の受取額	38	—
法人税等の支払額	△1,854	△587
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,174	△5,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,100	△6,900
定期預金の払戻による収入	6,500	7,100
有価証券の取得による支出	△4,500	△4,500
有価証券の売却による収入	4,500	4,500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,513	△1,721
投資有価証券の取得による支出	—	△300
投資有価証券の売却による収入	—	15
その他	△25	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,139	△1,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,879	△1,462
自己株式の取得による支出	△937	△2,930
自己株式の売却による収入	—	0
その他	△0	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,816	△4,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289	△12,053
現金及び現金同等物の期首残高	40,515	38,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,804	25,957

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

1. 設備投資

	2023年3月期	2024年3月期
第2四半期	1,391 百万円	1,187 百万円
通 期	2,105 百万円	(予想) 1,600 百万円

2. 減価償却費

	2023年3月期	2024年3月期
第2四半期	1,285 百万円 (うち、有形固定資産 746 百万円)	1,330 百万円 (うち、有形固定資産 690 百万円)
通 期	2,672 百万円 (うち、有形固定資産 1,586 百万円)	(予想) 2,800 百万円 (うち、有形固定資産 1,500 百万円)

3. 研究開発費

	2023年3月期	2024年3月期
第2四半期	6,448 百万円 (売上高比 12.1%)	4,855 百万円 (売上高比 9.8%)
通 期	13,283 百万円 (売上高比 12.9%)	(予想) 13,800 百万円 (売上高比 13.3%)

(2) 主要製品の売上高

主要製品の売上高

(2024年3月期 第2四半期実績)

(単位：億円)

製 品 名	前 期		当 期		対前年 同四半期 増減率	
	2023年3月期		2024年3月期			
	第2四半期 実績	年間 実績	第2四半期 実績	年間 見込		
潰瘍性大腸炎治療剤	リアルダ	67	135	71	150	+ 6%
慢性便秘症治療剤	グーフイス	33	69	37	90	+ 12%
高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤	エパデール	36	71	38	74	+ 5%
抗うつ剤	レクサプロ	79	110	26	65	△ 66%
慢性便秘症治療剤	モビコール	27	54	28	62	+ 5%
痛風・高尿酸血症治療剤	ユリス	10	22	15	40	+ 54%
持続性Ca拮抗降圧剤	アテレック	14	26	12	19	△ 15%
潰瘍性大腸炎治療剤	オンボー	-	-	2	19	-
慢性疼痛・抜歯後疼痛治療剤	トラムセット	15	29	12	18	△ 24%
肺動脈性肺高血圧症治療剤	トレプロスト	7	16	10	18	+ 26%
血液凝固阻止剤	ヘパリンNa	6	12	6	12	+ 3%
子宮内膜症・子宮腺筋症・月経困難症治療剤	ディナゲスト	12	18	5	11	△ 52%
尖圭コンジローマ・日光角化症治療剤	ベセルナ	5	11	5	10	+ 3%
後発品		135	295	150	309	+ 11%
スキンケア製品		30	59	31	63	+ 6%

- ・レクサプロの前期売上高は、自社販売と田辺三菱製薬株式会社への販売の合算
- ・アテレックは、アテディオを含む

(3) 医薬品等開発状況

医薬品等開発状況

【医薬品】

開発コード 〈一般名〉 〔製品名〕	開発段階	予定適応症	剤型	備考
* MD-110 〈ペグフィルグラスチム〉 〔ペグフィルグラスチムBS「モチダ」/「ニプロ」〕	承認取得	がん化学療法による 発熱性好中球減少 症の発症抑制	注射剤	バイオ後続品 キッズウェル・バイオ(株)と共同開発 2023年9月承認取得
* ACT-541468 〈ダリドレキサント塩酸塩〉	申請中	不眠症	経口剤	イドルシア ファーマシューティカルズ ジャパン(株) と共同開発
MD-0901 〈メサラジン〉 〔リアルダ〕	臨床第Ⅲ相	潰瘍性大腸炎 (小児適応)	経口剤	武田ファーマシューティカルズU.S.A.社から導入 自社開発
FYU-981 〈ドチヌラド〉 〔ユリス〕	臨床第Ⅲ相	痛風・高尿酸血症 (小児適応)	経口剤	(株)富士薬品と共同開発
MD-711 〈トレプロスチニル〉 〔トレプロスト吸入液〕	臨床第Ⅱ/Ⅲ相	間質性肺疾患に伴う 肺高血圧症	吸入剤	ユナイテッド・セラピューティクス社から導入 自社開発
MND-21 〈イコサペント酸エチル〉 〔エパデール〕	臨床第Ⅲ相	高トリグリセリド血症	経口剤	開発地域:中国 住友制薬(蘇州)と提携

【医療機器】

開発コード又は一般的名称	開発段階	予定する使用目的 又は効果	備考
dMD-001	申請中	関節軟骨損傷	アルギン酸ゲル 自社開発
dMD-002	探索的治験	海綿体神経損傷	アルギン酸シート 自社開発
* dMD-003	検証的治験	術後の癒着	アルギン酸シート 自社開発
* Nerve Cuff	申請中(510(k))	末梢神経損傷	開発地域:米国 アルギン酸シート 自社開発

医療機器の臨床試験に関する開発段階は、探索的治験と検証的治験に区分しています

* 2024年3月期第1四半期決算短信(2023年8月4日公表)からの変更点